

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	IUPUI	参加 プログラム名	インディアナプログラム	国名	アメリカ
氏名		学籍番号		学科	総合政策学部
参加時の 学年	2年生	参加費用 (日本円での概算)	約72万円		
参加日程	2023年 7月 8日 ~ 2023年 7月 31日 (3 週間)			記入年月日	2023年 8月 4日

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

まず、異なる国籍の方と英語でコミュニケーションをとることで、考え方の違いや文化の違いを肌で感じて自分の常識の殻を破り、広い視点から物事を考えられる人になる機会にすることでした。このプログラムで英語というツールを用いて多様な人と関わり、異文化を経験する機会を得たいと思いました。また、英語で現地の人と話したり、講義を聞いたり、プレゼンテーションをしたりする機会を通じて、英語の能力も総合的に高めることができると考えました。次に、女性の社会参画について学びを深める機会にすることでした。このプログラムのテーマは「Women in Leadership Program」です。私は昨年1年間、社会での女性の立場について勉強することができ、このプログラムはアメリカでどのように女性が活躍しているのか、実際に現地で学ぶ良い機会だと考えました。

② プログラムについて

研修・活動の感想

午前中の講義では、「女性」であることがどのような形で人生に影響を与えるのか、授業でたくさんの記事を読み、それに関する話し合いを通じて学びました。この話し合いは、様々な学部の新しい友人を作る良い機会になりました。私たちは日本での風潮を話し、先生からはアメリカでの風潮を聞くことができました。午後の講義ではアメリカで女性としてリーダーを務めた方から、実体験を聞くことができました。その中で印象に残った言葉は、「人はどんな環境でもリーダーになることができる」ということです。リーダーという立場ではなく、自分が置かれた環境でどのようにリーダーシップを発揮させることができるのかが大事なのだ学びました。日本では学年が上がるにつれ、特に女の子に関して、リーダーをやりたいと思う生徒の数が減っているように感じます。このリーダーシップに対する考え方は、もっと多くの学生が聞くべきお話しだと思いました。また、インディアナにある博物館、美術館にたくさん訪問することができ、とても楽しかったです。

研修・活動以外の部分についての感想

シカゴツアーがとても楽しかったです。2泊3日あるので、かなり多くの場所を回ることができました。ホテルの立地がとても良く、徒歩圏内で有名な観光地に行けたので便利でした。ただ、ルーzingが行われるNavy Pierに行くにはバスに乗る必要があり、シカゴでの公共交通機関の使い方については事前に調べておいた方が良かったと思いました。

私のホストマザーは芸術文化保護の仕事をしている上、事前にホストファミリーに芸術が好きなことを伝えてあったので、演奏会や舞台にたくさん連れて行ってもらいました。その中でも、Symphony on the Prairieがとても楽しかったです。芝生の上でピクニックをしながら、オーケストラによる「インディージョーンズ」のサウンドトラックの生演奏を聞くことができました。また、シェイクスピアの舞台をみることができました。インディアナはアートに触れる機会が多いので、心が豊かになる時間が多かったです。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません

私は自分のConversation Partnerとは日本のアニメやJPOP、料理の話で盛り上がりました。とても早く話す子だったので、リスニングの練習になりました。Conversation Partnerには自分から積極的にメッセージを送って、会う予定を入れた方が良いと思いました。Conversation Partnerにもよりますが、向こうから遊びに誘われることが少ないので、こちらから声をかけないと遊びに行くことができない人がいるように感じました。私はなるべくたくさんメッセージを送ったので、一緒に昼ごはんを食べ、授業後にインディアナ散歩に行くことができました。Conversation Partnerは基本日本人生徒が2人、現地の学生が1人の1組で、もう1人の日本人はホームステイ先が一緒の子とは違う子だったので、Conversation Partnerと出かける予定を入れる時はホームステイ先が一緒の子の予定も確認する必要がありました。このようなことがあり、スムーズに予定を決めることが難しかったです。また、自分のConversation Partner以外にも、現地の学生とSushi Pizza Partyやポスタープレゼンでたくさん話すことができました。ポスタープレゼンで自分の取り上げた女性のリーダーに非常に興味を持ってくれた学生さんと話が盛り上がり、そのまま友達になって授業後に遊ぶ仲になりました。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

アメリカに来る前、私にとって「リーダー」というポジションはとても大きなもので、そのポジションは完璧に遂行されるべきだと思っていました。しかし、このプログラムを通して、「リーダー」というものをもっと身近に感じるようになりました。私は、どんな状況でも、誰もがリーダーになれること、失敗することで良いリーダーになる方法を学ぶことを知りました。私は総合政策学部で若い世代にオペラを知ってもらおうための学生団体に所属しています。私が4年生になった時、その団体のリーダーになろうと考えているので、その際は今回のプログラムで学んだことを活かしていきたいです。また、私は優柔不断なところがあります。しかし、アメリカでのホストマザーとのコミュニケーションは、自分の意見をはっきり言うとても良い機会になりました。この経験は、私にとって必ず役に立つと考えます。

学習面では、英語のリスニング能力、スピーキング能力が確実に向上しました。映画を帰国後に見た時、自分の耳から入った言葉で理解するスピードの方が、目から入る字幕の情報を整理するスピードよりも早くなったことを実感しました。今回の研修ではたくさんの訛りのある英語を聞いて過ごしたことが大きな理由だと考えます。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

研修中はたくさん歩いて美術館や博物館に行く日が多いことと、家に帰ってから課題が多いため、ゆっくりプランを考える時間がありませんでした。そのため、シカゴの予定は、アメリカに来る前に何個か候補を作っておくことをお勧めします。私のお勧めは、「my City PASS」というアプリを入れて、その中でChicago CityPASS かChicago C3のどちらかのチケットのセットを購入することです。Chicago CityPASSではシカゴの有名な場所5箇所、Chicago C3ではシカゴの有名な3箇所に行くことができます。

持ってきてよかったと思ったものは、日焼け止め、帽子、水筒です。日差しがとても強いので、日焼け止めと帽子は必ず持ってきたほうが良いと思いました。また、アメリカではIUPUIだけでなく、美術館や博物館でも水筒に水を補充できる場所がたくさんあります。毎日水を買うのは勿体無いので、空の大きめの水筒をスーツケースに入れておくことをお勧めします。

IUPUIに通う中でよく使ったアプリは、「Google maps」、「myStop」、「JagLine」です。大学にはバスで通うので、バスの現在地や遅延情報を調べることに使いました。バスは時間通りに来ないことが多いです。定刻より5分早く出発したり、遅れすぎると「OUT OF SURVIVE」になって乗る予定だったバスがなくなったりします。そのため、朝はかなり早めに出ることをお勧めします。

英語に自信がなくても、とりあえず話してみる精神が大切だと思います。現地の人、私たちが日本人の見た目をしているので拙い英語でも聞き取ろうとしてくれます。恐れずに、たくさん英語を使ってみてください。

最終日、修了証を頂いた時に集合写真を撮りました。最終日のプレゼンの様子です。



THE LUMEに行った時の写真です。



Conversation PartnerとSkatelandに行った時の写真です。



Zaharakos Ice Cream Parlor



シカゴの雲の門



シカゴスカイデッキ

